

三重県人口の社会増減の変化について

三重県人口は、平成22年国勢調査において0.7%減少となるなど、減少に転じています。人口の増減には、出生や死亡による「自然増減」と転入や転出による「社会増減」とがあり、本レポートでは社会増減に焦点をあて、社会増減の実態やその要因について考察を行いました。

人口増加数 = 自然増加数 + 社会増加数
自然増加数 = 出生数 - 死亡数
社会増加数 = 転入数 - 転出数 + その他の増減
転入超過数 = 転入数 - 転出数

<考察のまとめ>

【社会増減の推移】

- 昭和55年以降、平成9年までは転入超過であったが、平成10年以降は概ね転出超過に転じている。 該当p
- 平成16年から平成20年まで、女性は転出超過が続いていたが、男性は転入超過であった。 p1
- 転入者数、転出者数ともに緩やかな低下傾向がみられる。 p2
- 近隣県をみると、愛知や滋賀では転入超過となっており、三重や岐阜では転出超過が続いている。 p3

【転出入者の実態】

- 大阪府と愛知県に対して、平成8年以前はともに転入超過であったが、転出超過に転じている。 p4
- 大阪府と愛知県に対して、転出者も減少しているが、それ以上に転入者が減少している。 p5
- 進学や就職の時期にあたる10代後半や20代で、大きく転出超過となっている。 p5
- 一方、その他の年齢では、概ね転入超過となっている。

【平成2年と平成22年の比較】

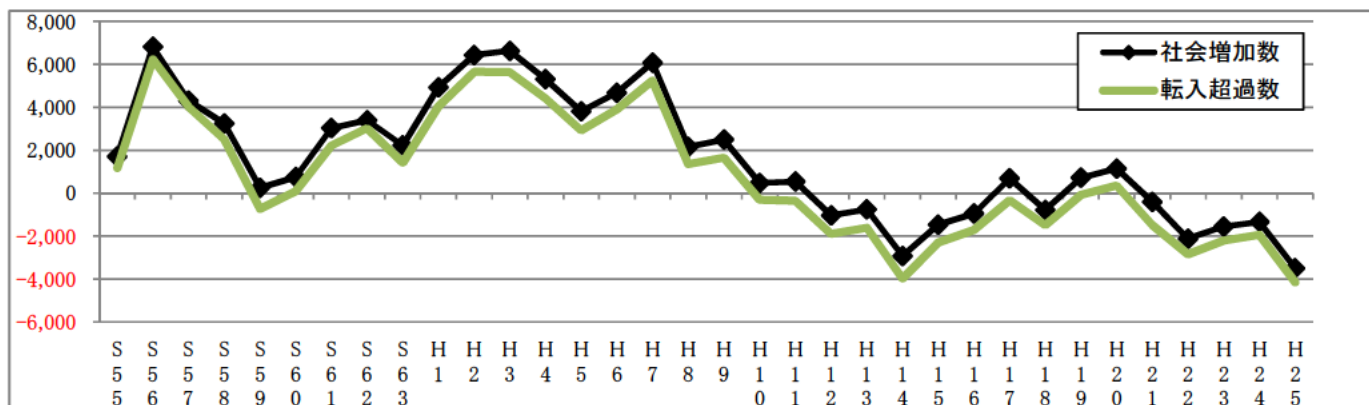
- 国勢調査で、転入超過であった平成2年と転出超過であった平成22年を比較すると、
- 15歳から24歳の転出超過数にはそれほど変化はみられないが、その他の年齢階級において、転入超過数に減少がみられる。 p6
 - 名張市や東員町において、平成2年は大きく転入超過であったが、平成22年は転出超過となっている。 p7
- 年齢別にみると、子供を含めた家族の転入が大きく減少したためと考えられる。
- ⇒近年の三重県の転出超過は、進学や就職に伴う転出超過が一つの要因ではあるが、転入超過であった平成2年も同様の状況であった。平成2年との比較から、30代の転出者が増加していること、20代後半及び子供の転入者が減少していること、にも要因があると考えられる。 p5
p6

1. 社会増減の推移

(1) 社会増加数及び転入超過数

平成10年以前は、概ね転入超過であったが、その後、転出超過の傾向が続いている。社会増加数は常に転入超過数を上回っている。

【社会増加数及び転入超過数】



	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
社会増加数	1,704	742	6,439	6,080	▲1,036	686	▲2,129
転入超過数	1,174	89	5,654	5,248	▲1,901	▲327	▲2,856

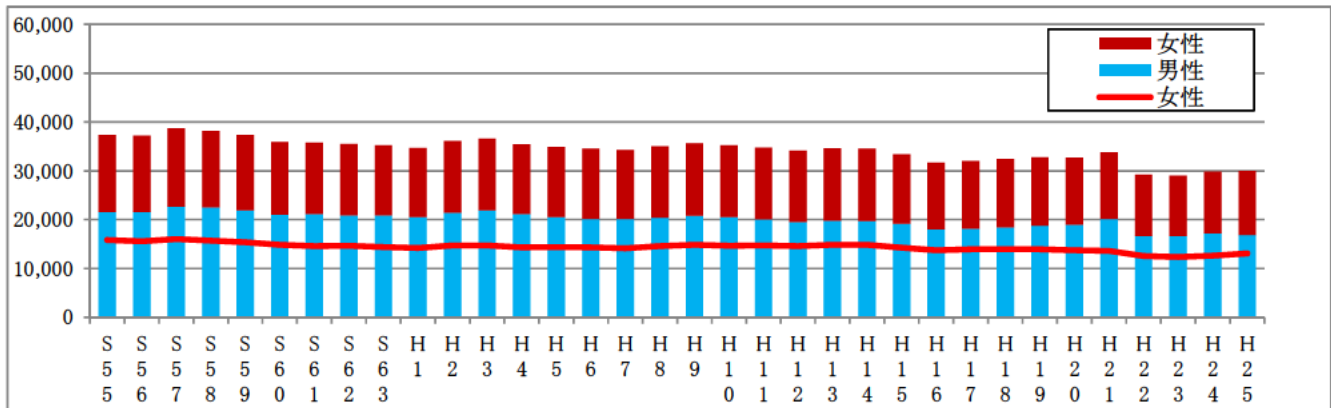
(資料)住民基本台帳人口移動報告

(2) 転出者数及び転入者数

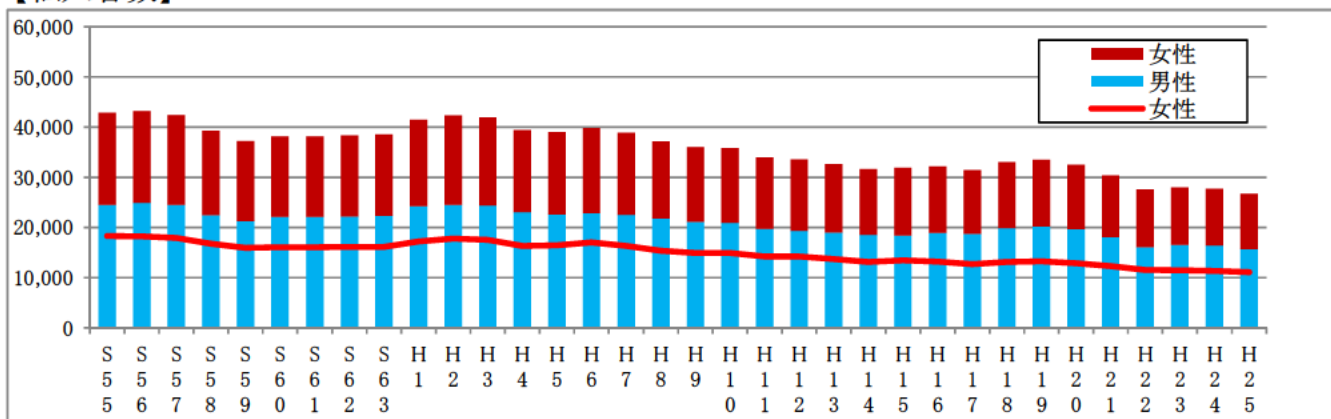
転出者数、転入者数ともに緩やかな低下傾向がみられる。

転出者数、転入者数ともに女性よりも男性の方が多くなっているが、男女に傾向の違いはみられない。平成16年から平成20年にかけて、女性は転出超過だが、男性は転入超過となっていた。

【転出者数】



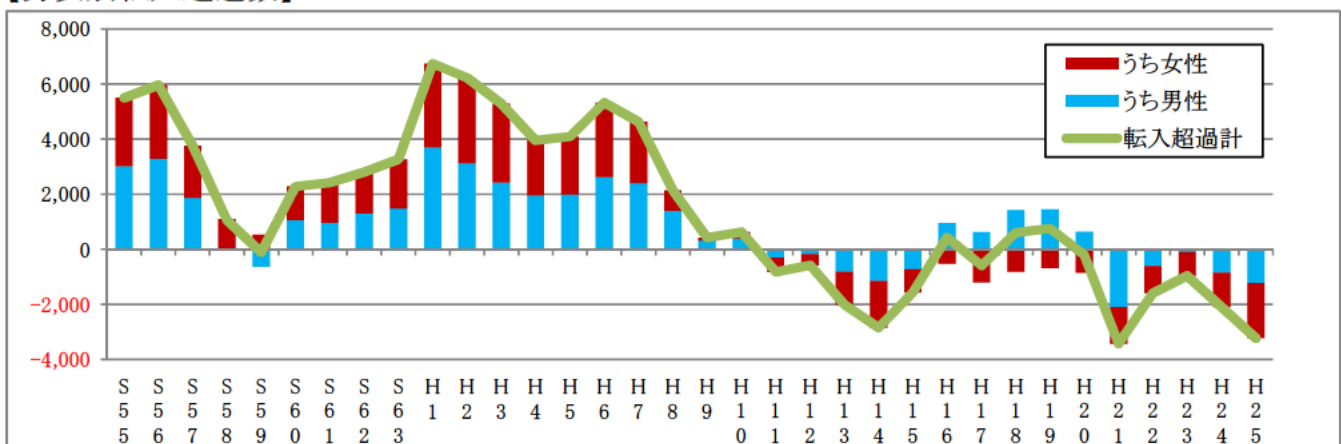
【転入者数】



		S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
転出者	総数	37,334	35,873	36,113	34,254	34,119	32,041	28,987
	男性	21,521	21,042	21,427	20,131	19,502	18,119	16,646
	女性	15,813	14,831	14,686	14,123	14,617	13,922	12,341
転入者	総数	42,837	38,149	42,344	38,882	33,541	31,455	28,019
	男性	24,546	22,102	24,557	22,538	19,331	18,744	16,548
	女性	18,291	16,047	17,787	16,344	14,210	12,711	11,471
転入超過	総数	5,503	2,276	6,231	4,628	▲ 578	▲ 586	▲ 968
	男性	3,025	1,060	3,130	2,407	▲ 171	625	▲ 98
	女性	2,478	1,216	3,101	2,221	▲ 407	▲ 1,211	▲ 870

(資料) 住民基本台帳人口移動報告

【男女別転入超過数】



2. 転出入者の実態

(1) 対都道府県別

転入超過であった平成10年以前は、特に大阪府や愛知県に対して転入超過であった。大阪府や愛知県に対して転出超過に転じた頃から、全体としても転出超過となった。大阪府や愛知県に対して、転出者も減少しているが、それ以上に転入者が減少している。平成16年から平成20年にかけて、その他の県からの転入超過が大きく増加していた。

対東京都：昭和55年以降、転出超過が続いているが、あまり変動はみられない。

対岐阜県：昭和55年以降、概ね転入超過となっているが、数は少なく、変動も小さい。

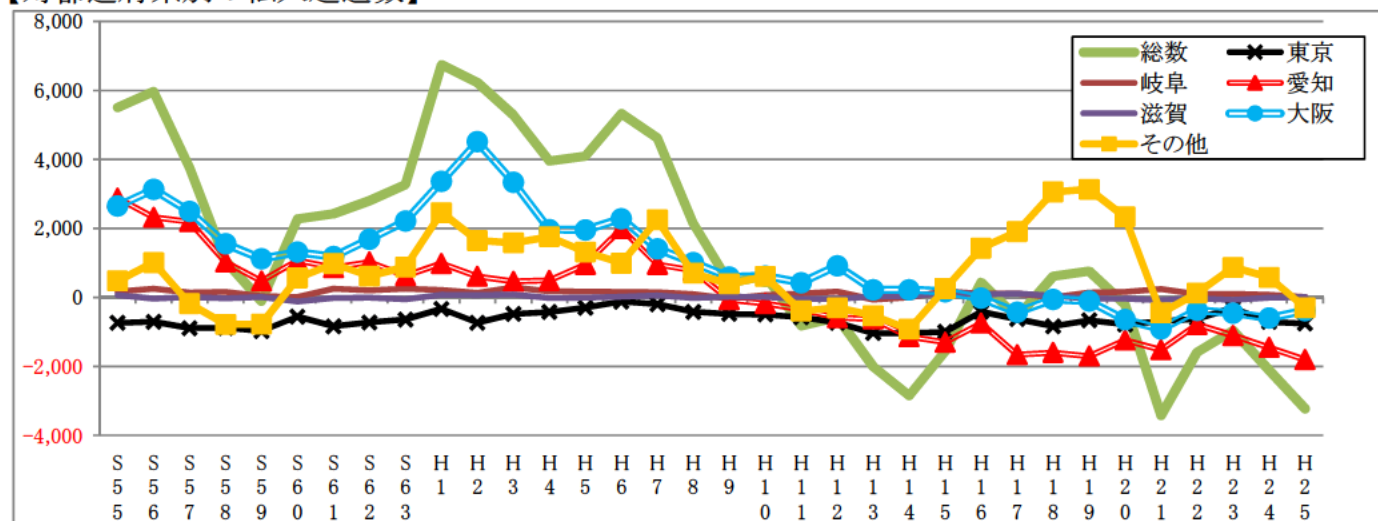
対愛知県：平成8年以前は転入超過であったが、9年以降は転出超過に転じている。

対滋賀県：転出超過、転入超過どちらかに偏った傾向はみられない。

対大阪府：平成15年以前は転入超過であったが、16年以降は転出超過に転じている。

対その他：昭和55年以降、概ね転入超過となっており、特に平成16年から20年に大きく転入超過となった。

【対都道府県別の転入超過数】



<転入超過数>

	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H25	H22-H2
総数	5,503	2,276	6,231	4,628	▲ 578	▲ 586	▲ 1,592	▲ 3,226	▲ 7,823
東京	▲ 738	▲ 556	▲ 736	▲ 198	▲ 735	▲ 629	▲ 620	▲ 757	116
岐阜	169	14	127	153	167	112	97	7	▲ 30
愛知	2,878	1,068	606	954	▲ 585	▲ 1,661	▲ 792	▲ 1,806	▲ 1,398
滋賀	69	▲ 123	71	55	▲ 45	114	▲ 31	11	▲ 102
大阪	2,649	1,313	4,513	1,412	916	▲ 427	▲ 370	▲ 381	▲ 4,883
その他	476	560	1,650	2,252	▲ 296	1,905	124	▲ 300	▲ 1,526

<転出者数>

	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H25	H22/H2
総数	37,334	35,873	36,113	34,254	34,119	32,041	29,211	29,973	80.9%
東京	3,062	2,997	2,876	2,402	2,712	2,562	2,456	2,511	85.4%
岐阜	1,293	1,324	1,272	1,296	1,298	1,320	1,130	1,231	88.8%
愛知	10,534	10,118	10,140	9,220	9,410	9,309	8,062	9,083	79.5%
滋賀	541	607	541	591	704	690	729	707	134.8%
大阪	4,478	4,398	4,560	4,309	3,959	3,916	3,384	3,190	74.2%
その他	17,426	16,429	16,724	16,436	16,036	14,244	13,450	13,251	80.4%

<転入者数>

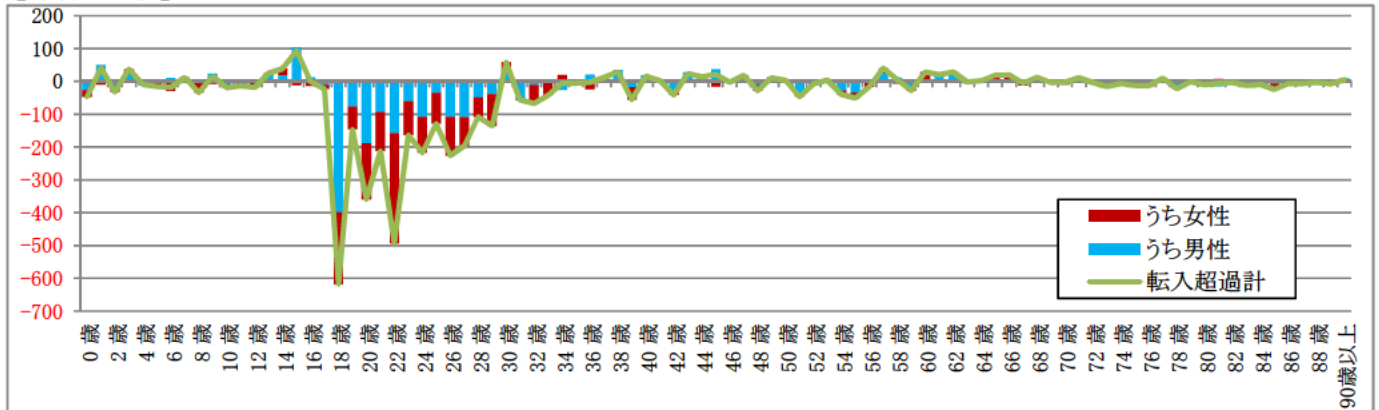
	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H25	H22/H2
総数	42,837	38,149	42,344	38,882	33,541	31,455	27,619	26,747	65.2%
東京	2,324	2,441	2,140	2,204	1,977	1,933	1,836	1,754	85.8%
岐阜	1,462	1,338	1,399	1,449	1,465	1,432	1,227	1,238	87.7%
愛知	13,412	11,186	10,746	10,174	8,825	7,648	7,270	7,277	67.7%
滋賀	610	484	612	646	659	804	698	718	114.1%
大阪	7,127	5,711	9,073	5,721	4,875	3,489	3,014	2,809	33.2%
その他	17,902	16,989	18,374	18,688	15,740	16,149	13,574	12,951	73.9%

(資料) 住民基本台帳人口移動報告

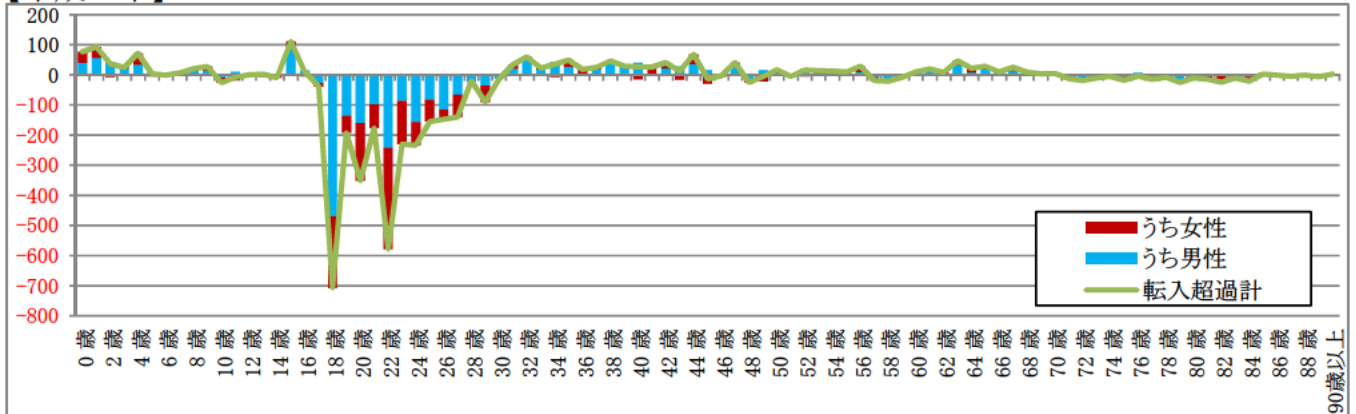
(2) 年齢別

進学や就職の時期にあたる10代後半や20代において、大きく転出超過となっている。
10代後半や20代を除く年齢では、概ね転入超過の方が多くなっている。

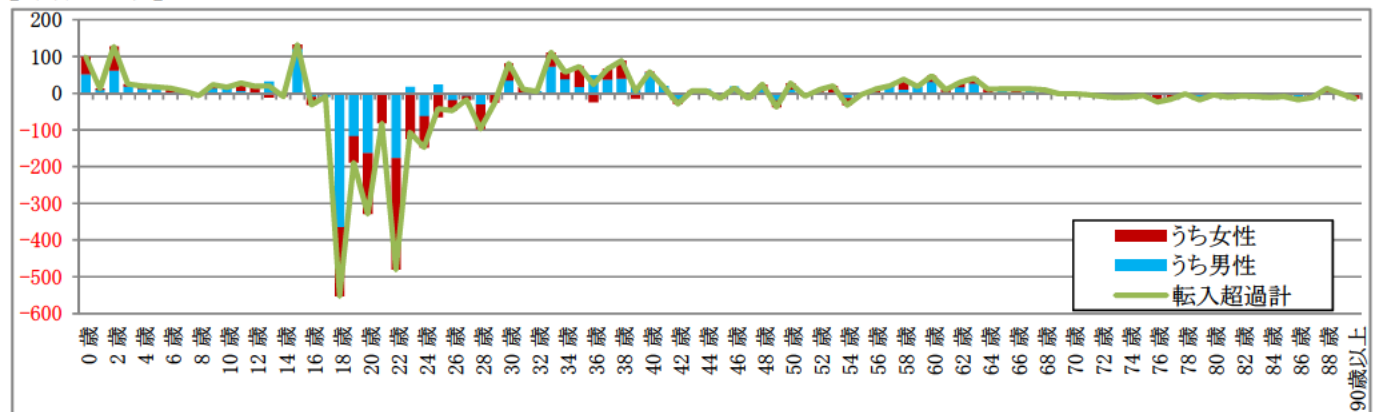
【平成25年】



【平成24年】



【平成23年】



<年齢別の男女別転入超過数>

		10歳	15歳	20歳	25歳	30歳	40歳	50歳	60歳
平成25年	総数	▲ 19	94	▲ 360	▲ 129	59	16	3	29
	男性	▲ 11	105	▲ 188	▲ 35	31	19	2	8
	女性	▲ 8	▲ 11	▲ 172	▲ 94	28	▲ 3	1	21
平成24年	総数	▲ 26	111	▲ 352	▲ 155	▲ 12	27	17	10
	男性	▲ 9	98	▲ 160	▲ 83	▲ 12	41	6	▲ 1
	女性	▲ 17	13	▲ 192	▲ 72	0	▲ 14	11	11
平成23年	総数	16	132	▲ 329	▲ 42	81	58	28	48
	男性	16	121	▲ 163	24	35	56	10	31
	女性	0	11	▲ 166	▲ 66	46	2	18	17

(資料) 住民基本台帳人口移動報告

※年齢別データは平成22年から公表

3. 転入超過時と転出超過時の比較

転入超過であった平成2年と転出超過であった平成12年及び平成22年について、国勢調査のデータから比較を行った。

<注>国勢調査と住民基本台帳人口移動報告では調査方法が異なるため、値は一致しない。

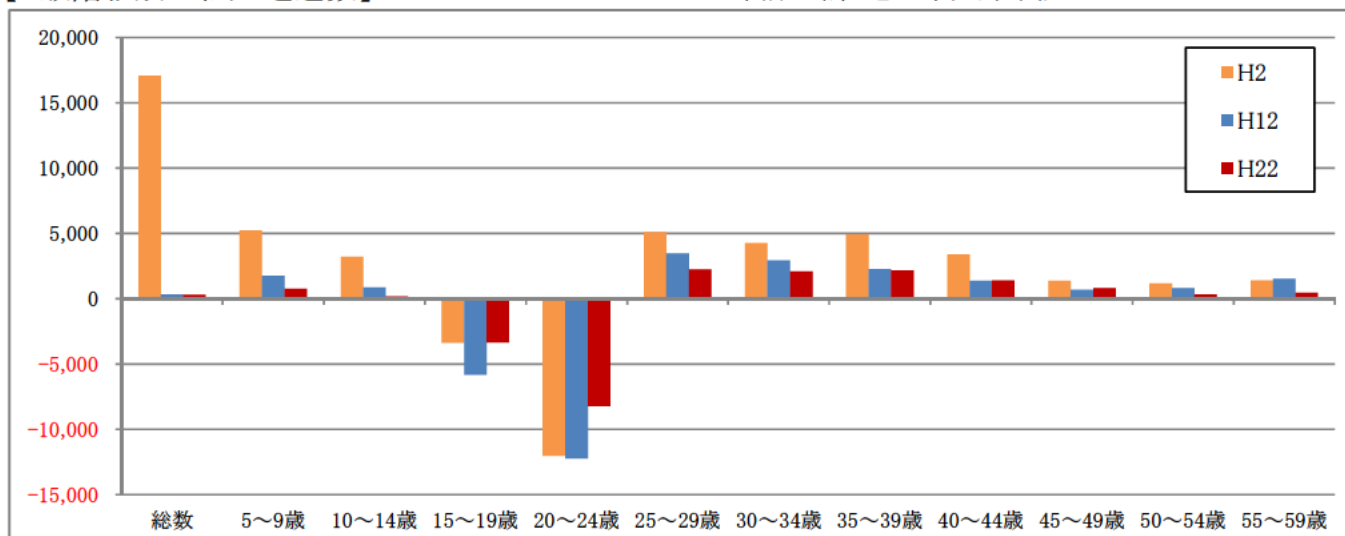
(1) 5歳階級別の転入超過数

平成2年と平成22年を比較すると、転出超過となっている15歳から24歳では、あまり変化はみられないが、転入超過となっているその他の年齢階級において減少がみられる。

転入超過数の減少は、特に、30歳代の転出者数の増加と20代後半及び5歳から14歳の転入者数の減少によるものと考えられる。

【5歳階級別の転入超過数】

※5年前の常住地に対する転出入



		総数	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳
転出者	H2	96,253	4,528	14,017	26,876	12,996	8,412	6,363	5,848
	H12	101,809	3,437	11,341	26,540	16,402	11,541	7,380	4,789
	H22	88,200	2,661	7,236	17,342	11,905	10,865	9,131	6,102
転入者	H2	113,330	7,737	10,616	14,837	18,097	12,663	11,280	9,252
	H12	102,145	4,286	5,498	14,303	19,866	14,462	9,648	6,154
	H22	88,494	2,825	3,876	9,096	14,155	12,946	11,298	7,495
転入超過	H2	17,077	3,209	▲ 3,401	▲ 12,039	5,101	4,251	4,917	3,404
	H12	336	849	▲ 5,843	▲ 12,237	3,464	2,921	2,268	1,365
	H22	294	164	▲ 3,360	▲ 8,246	2,250	2,081	2,167	1,393

(資料) 国勢調査

※年齢別データは平成2年から公表

(参考) 国勢調査と住民基本台帳人口移動報告の違い

国勢調査 : 居住実態で確認、5年前の常住地に対する転出及び転入
 住民基本台帳人口移動報告 : 住民票で確認、1年間の転出及び転入

<転入超過数等の比較>

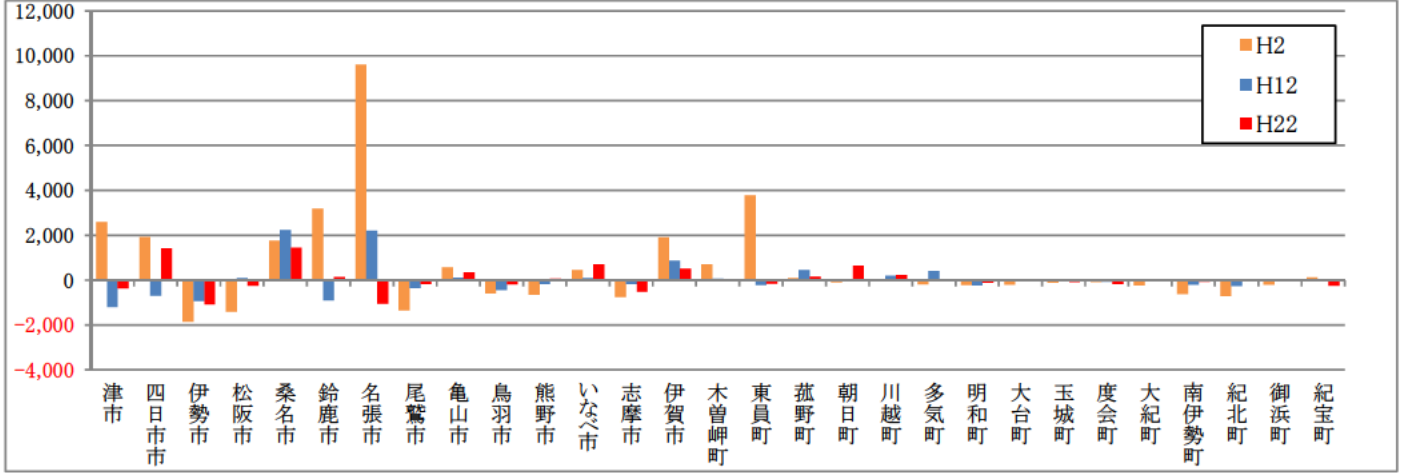
		H22住基	H22国調
転出者	総数	29,211	88,200
	男性	16,688	49,017
	女性	12,523	39,183
転入者	総数	27,619	88,494
	男性	16,071	52,205
	女性	11,548	36,289
転入超過	総数	▲ 1,592	294
	男性	▲ 617	3,188
	女性	▲ 975	▲ 2,894

(2) 県内市町別の転入超過数

市町別の転入超過数について、平成2年と22年を比較すると、平成2年に大きく転入超過であった名張市や東員町、鈴鹿市、津市で大きな変化がみられる。

年齢別にその変化を確認すると、名張市や東員町では、5歳から14歳と30歳から44歳で大きく転入超過であったが、平成22年には激減している。津市は、転入超過であった20歳から29歳で転出超過に転じている。

【市町別の転入超過数】



< 主な市町別 >

	H2	H12	H22
津市	2,586	▲ 1,202	▲ 373
四日市市	1,917	▲ 685	1,426
伊勢市	▲ 1,864	▲ 936	▲ 1,087
松阪市	▲ 1,407	94	▲ 245
桑名市	1,751	2,236	1,449
鈴鹿市	3,180	▲ 899	134
名張市	9,599	2,205	▲ 1,048
尾鷲市	▲ 1,353	▲ 344	▲ 181
亀山市	560	104	331
熊野市	▲ 648	▲ 172	63
伊賀市	1,902	872	505
木曾岬町	705	64	36
東員町	3,779	▲ 225	▲ 159
朝日町	▲ 112	▲ 64	641
県計	17,255	691	1,028

< 平成22年と平成2年の差 >

	H22-H2		
	総数	男性	女性
津市	▲ 2,959	▲ 1,525	▲ 1,434
四日市市	▲ 491	592	▲ 1,083
伊勢市	777	630	147
松阪市	1,162	850	312
桑名市	▲ 302	212	▲ 514
鈴鹿市	▲ 3,046	▲ 2,100	▲ 946
名張市	▲ 10,647	▲ 5,068	▲ 5,579
尾鷲市	1,172	609	563
亀山市	▲ 229	▲ 141	▲ 88
熊野市	711	401	310
伊賀市	▲ 1,397	▲ 486	▲ 911
木曾岬町	▲ 669	▲ 290	▲ 379
東員町	▲ 3,938	▲ 1,872	▲ 2,066
朝日町	753	464	289
県計	▲ 16,227	▲ 5,528	▲ 10,699

(資料) 国勢調査

※ 5年前の常住市区町村「不詳」を含むため県計と市町計は一致しない

< 5歳階級別転入超過数 >

	津市		鈴鹿市		名張市		東員町	
	H2	H22	H2	H22	H2	H22	H2	H22
総数	2,586	▲ 373	3,180	134	9,599	▲ 1,048	3,779	▲ 159
5～9歳	255	▲ 86	305	24	1,767	92	722	42
10～14歳	169	▲ 137	78	62	1,187	17	516	15
15～19歳	311	15	523	▲ 242	210	▲ 231	113	▲ 55
20～24歳	423	▲ 280	109	▲ 460	▲ 433	▲ 748	▲ 81	▲ 159
25～29歳	76	▲ 492	901	315	610	▲ 132	175	▲ 37
30～34歳	337	103	457	85	1,422	34	549	▲ 27
35～39歳	220	155	291	116	1,638	65	702	31
40～44歳	267	42	224	116	1,084	50	423	31
45～49歳	52	62	31	33	414	▲ 48	168	2
50～54歳	94	9	65	32	332	▲ 103	96	▲ 15
55～59歳	67	59	59	68	385	▲ 70	106	▲ 28

(資料) 国勢調査

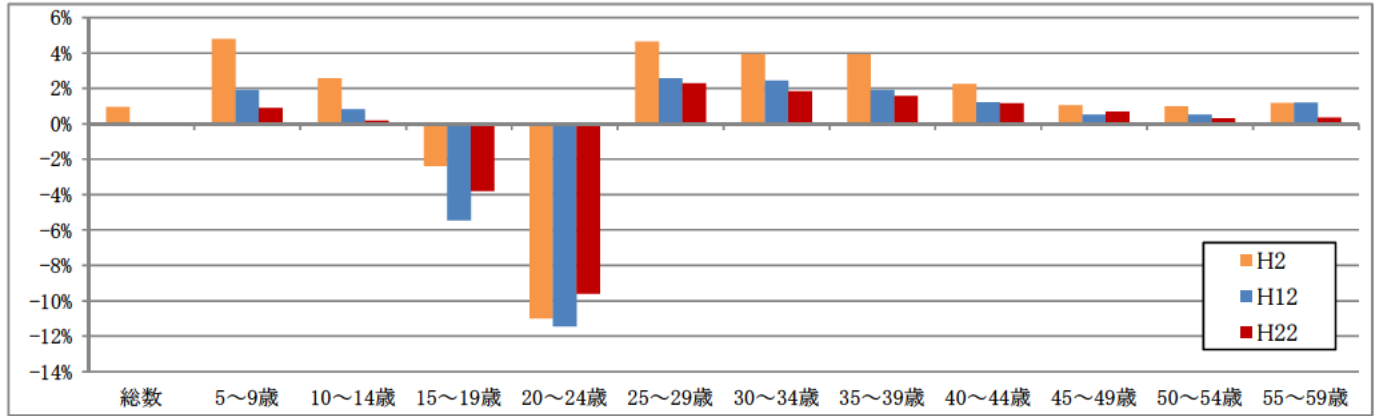
(3) 県別の転入超過比率

※転入超過比率＝転入超過数÷人口

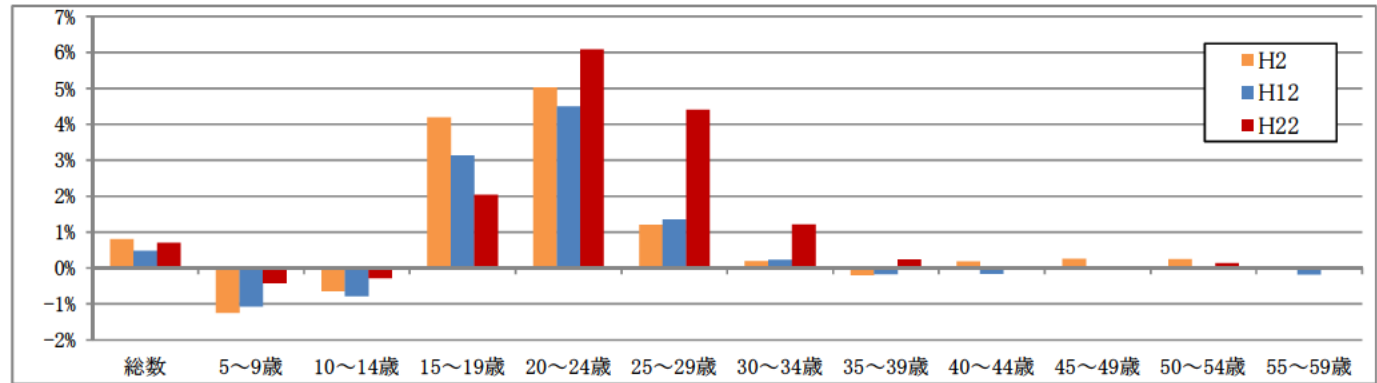
転出超過となっている15歳から24歳では、その比率にあまり変化はみられないが、転入超過となっているその他の年齢階級では、比率の低下がみられる。

15歳から24歳を除く年齢階級をみると、転出超過となっている大阪や東京において、平成2年から比率の低下がみられる。

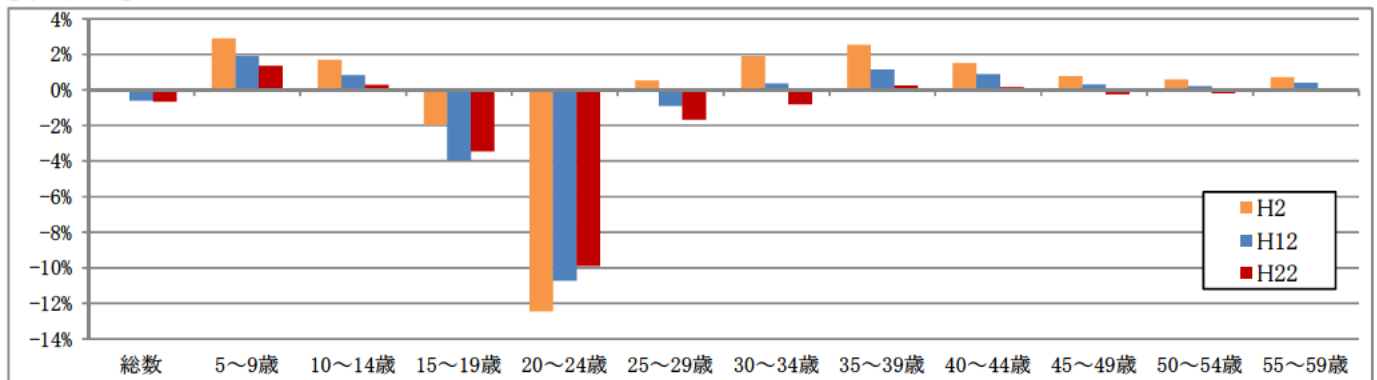
【三重県】



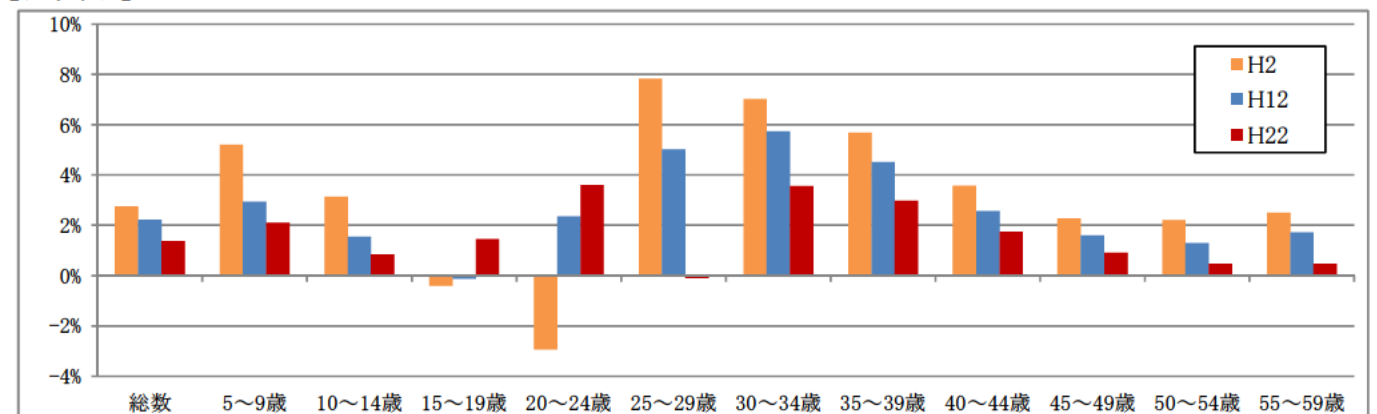
【愛知県】



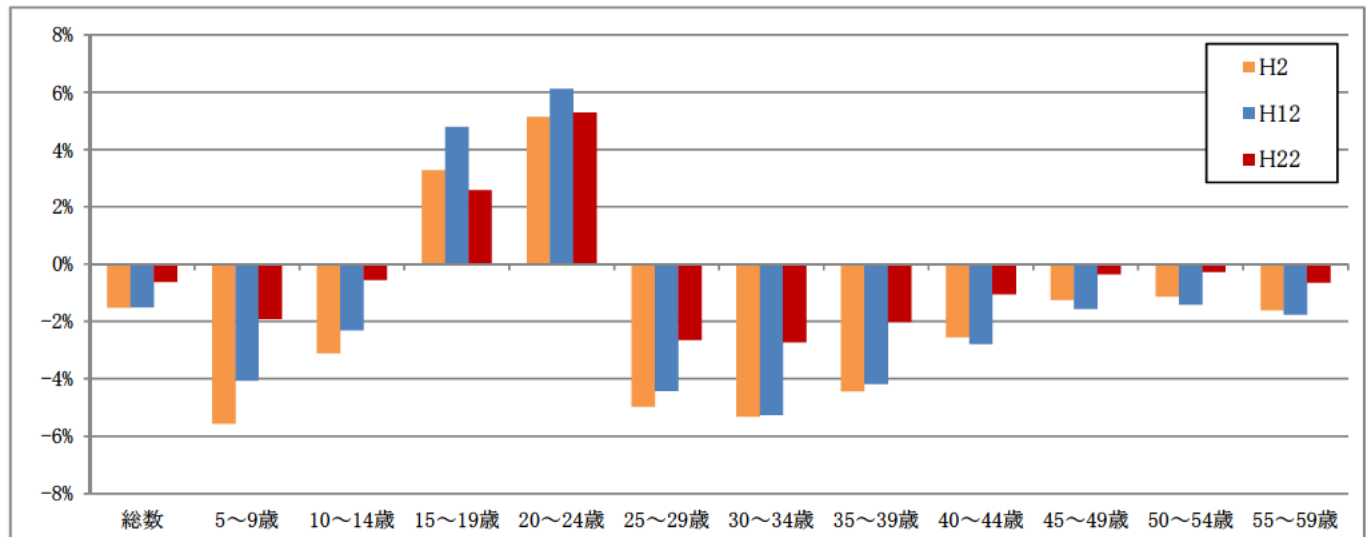
【岐阜県】



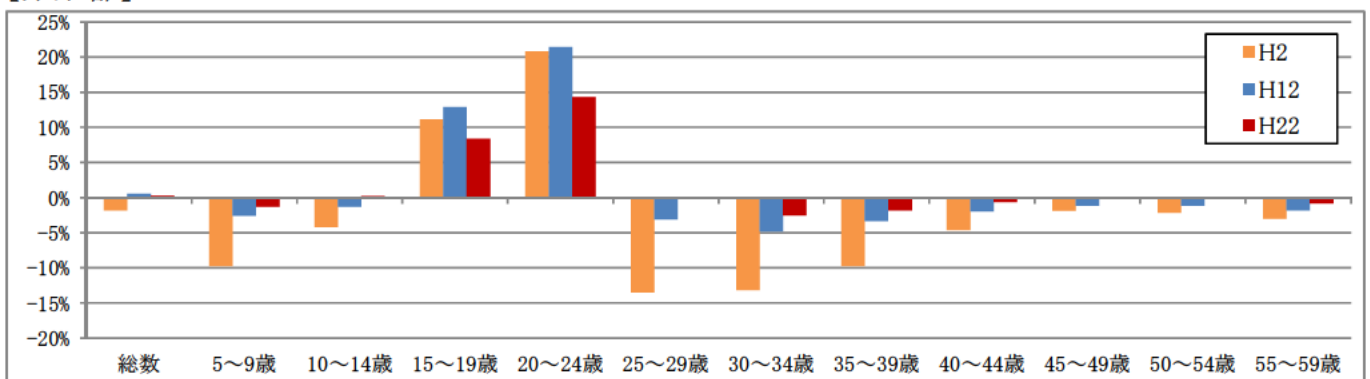
【滋賀県】



【大阪府】



【東京都】



<平成22年>

	総数	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳
東京	0.3%	-1.3%	0.2%	8.4%	14.3%	0.0%	-2.6%	-1.8%	-0.6%
岐阜	-0.7%	1.4%	0.3%	-3.5%	-9.9%	-1.7%	-0.8%	0.3%	0.1%
愛知	0.7%	-0.4%	-0.3%	2.0%	6.1%	4.4%	1.2%	0.2%	0.0%
三重	0.0%	0.9%	0.2%	-3.8%	-9.6%	2.3%	1.8%	1.6%	1.1%
滋賀	1.4%	2.1%	0.8%	1.5%	3.6%	-0.1%	3.6%	3.0%	1.7%
大阪	-0.6%	-1.9%	-0.6%	2.6%	5.3%	-2.6%	-2.7%	-2.0%	-1.0%

<平成12年>

	総数	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳
東京	0.5%	-2.6%	-1.3%	12.9%	21.4%	-3.1%	-4.8%	-3.4%	-2.0%
岐阜	-0.6%	1.9%	0.8%	-3.9%	-10.7%	-0.9%	0.4%	1.2%	0.9%
愛知	0.5%	-1.1%	-0.8%	3.1%	4.5%	1.3%	0.2%	-0.2%	-0.2%
三重	0.0%	1.9%	0.8%	-5.5%	-11.5%	2.6%	2.4%	1.9%	1.2%
滋賀	2.2%	2.9%	1.5%	-0.1%	2.3%	5.0%	5.7%	4.5%	2.6%
大阪	-1.5%	-4.1%	-2.3%	4.8%	6.1%	-4.4%	-5.3%	-4.2%	-2.8%

<平成2年>

	総数	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳
東京	-1.8%	-9.7%	-4.2%	11.1%	20.8%	-13.5%	-13.2%	-9.8%	-4.6%
岐阜	0.0%	2.9%	1.7%	-2.0%	-12.4%	0.5%	1.9%	2.6%	1.5%
愛知	0.8%	-1.2%	-0.6%	4.2%	5.0%	1.2%	0.2%	-0.2%	0.2%
三重	1.0%	4.8%	2.6%	-2.4%	-11.0%	4.6%	4.0%	3.9%	2.3%
滋賀	2.8%	5.2%	3.1%	-0.4%	-2.9%	7.8%	7.0%	5.7%	3.6%
大阪	-1.5%	-5.6%	-3.1%	3.3%	5.1%	-5.0%	-5.3%	-4.4%	-2.6%

(資料) 国勢調査

※転入超過比率=転入超過数÷人口

※人口の差の影響を取り除くため対人口比で比較